

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（11月定例会）会議録
開催日時	令和3年11月26日（金）午後2時から午後16時00分まで
開催場所	田無第二庁舎4階 会議室
出席者	委員：河野副議長、伊尻委員、勝野委員、川原委員、黒羽委員 小松委員、坂内委員、攝賀委員、長谷川委員、松本委員、宮本委員 事務局：和田社会教育課長、江藤社会教育課長補佐兼社会教育係長、野田主事 掛谷教育企画課長、佐々木教育企画課長補佐兼企画調整係長
議題	<u>議 事</u> （1）地域学校協働活動等の制度説明について （2）地域学校協働活動の現在の取組状況について【けやき小学校・明保中学校】 （3）2校の検証と今期の提言テーマについて （4）その他
配付資料	資料1 社会教育委員の会議（10月定例会）会議録（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

●令和3年10月の定例会議の会議録（案）について、承認する。

●議事について

○議長：まずは事務局より説明をお願いしたい。

○事務局：下記のとおり説明

- ・前回の会議で、当市のCSと地域学校協働活動の制度説明を望む声が多数あったので、まずは制度説明をする。
- ・そのうえで現在実施校の2校の方から、7月からの取り組み状況とともに課題と感じていることをご報告いただく。
- ・これらを踏まえた上で、提言テーマを決定していただきたい。

議事（1）地域学校協働活動等の制度説明について

○事務局よりコミュニティスクールと地域学校協働活動に関する説明

- ・コミュニティスクール（学校運営協議会）及び地域学校協働活動について
- ・まちなか先生（学校出前講座）について
- ・学校応援団について

○副議長：質問や意見等ないか

○委員：説明いただいた事例の中に、中学校での事例が少ないところが課題のように思える。

○事務局：まちなか先生（学校出前講座）の話になるが、調査の段階では複数の中学校から希望をいただいていたがプログラムを選定する際に減ってしまった。小学校だけではなく中学校に対しても魅力的に感じられるような講座を提供していきたい。

- 委員：地域学校協働活動の話聞いて、気になる点はボランティアで学校をサポートすることと、協働で何かしていくことのラインである。
- 事務局：現在、形になっているのはボランティア的なものが多い印象だが、スタートとしてボランティア活動から始め、地域の力をつけていき、様々な形の展開に発展させていきたいと考えている。
- 委員：ボランティアだと学校から言われたものを行うイメージで、協働だとこちらからも提案していいのかなというイメージを持つ。
- 委員：実際に地域学校協働活動を通してボランティアの募集をしているが、ボランティアの意識が違うように感じる。
- 事務局：活動の目的を学校と地域が共有した上で取り組むよう配慮したい。

議事（２）地域学校協働活動の現在の取組状況について【けやき小学校・明保中学校】

〈①委員よりけやき小学校の地域学校協働活動の活動状況についての説明〉

- 副議長：質問や意見等ないか
- 委員：飼育動物のお世話についての話があったが、担当学年はないのか。
- 委員：休日や年末年始は安全管理上大人がやっていた。
学年でやるとどうしても担当の学年の教員が苦勞をする。
- 委員：活動の周知の仕方はどのようにしているのか。
- 委員：保護者の方には学校で資料配布をしている。
その他に、学校の広報誌、学校のHPを活用している。
- 委員：既存の全ての団体への周知はコロナ禍でなかなか集まれないこともあり、難しい。
知らないところで勝手に進んでいると疎外感も感じてしまうこともあり得る。
- 委員：地域の活動に関心があるが、学校の活動に関わりのなかった方には学校単位での周知ではなく市での周知（市報、HP、SNS）が必要だと考える。
地域活動に参加したいと考えている方が、活動場所として学校も視野の中に入れられるような取り組みが必要だと考える。

〈②委員より明保中学校のコミュニティ・スクールとしての取組状況についての説明〉

- 副議長：何か質問や意見等あるか
- 委員：部活動についてだが、部活動の指導者のデータベースを作成できれば活用できるのではないかと考える。
- 委員：人材リストもそうだが、人を募集するにあたり、システム的なものを作れたらよい。
副校長に応募の連絡がいくのは避けたい。

○委員：中学校では学校の活動を支援してくれる地域の団体が少ないので、新たな取組みを考えたときに実際に動く組織がない。小学校の既存の組織と連携するにしても、学区域の関係で難しい。
人材を募集にするにしても何で広報をするのかが課題になる。地域の方は自分で情報をつかみに行くしかない。

○委員：保護者等の身近な方から始めて、その紹介などから広めていくのはどうだろうか。そこから段階的にデータベースを構築できればいいと考える。

議事（３） ２校の検証と今期の提言テーマについて

○副議長：それでは今期の提言テーマについての議論に進めて参りたい。
テーマの決定にあたり何か意見等あるか。

○委員：小学校も中学校も地域学校協働活動を始めた学校にはそれぞれ課題があるので、次に地域学校協働活動が始まる学校へ向けて、これらの課題を解決する提案は必要であると考え。
４月以降は地域づくり人づくりにフォーカスして、提言を出していくのはどうか。

○副議長：３月までは地域学校協働活動を先行的に実施している学校の課題等を整理し、社会教育委員として課題に対する解決案や事例等を示し、そして４月以降は「地域づくり、人づくり」をテーマにして議論していくのはどうだろうかという意見が出たが、どう考えるか。

○副議長：他に意見等がなければ、この方向で進めていきたい。
今回、地域学校協働活動を先行的に行っている２校の課題等を聞くことができた。
これらを事務局の方でまとめていただき、次回の会議で課題に関する意見等を深めていきたい。

議事（４）

次回会議について

12月24日（金）午後２時

場所 田無第二庁舎 ５階会議室